

【平成17年3月期 決算記者会見資料】

契約の状況等

		04年3月期(末)	04年9月期(末)	05年3月期(末)
新契約高	(百万円)	444,001 (5.0%減)	160,280 (31.7%減)	299,732 (32.5%減)
保有契約高	(百万円)	3,135,754 (5.4%減)	3,024,544 (5.8%減)	2,913,030 (7.1%減)
解約・失効高	(百万円)	518,716 (14.4%減)	215,992 (22.9%減)	425,146 (18.0%減)
解約・失効率	(%)	15.65	6.89	13.56
保険料等収入	(百万円)	156,144 (22.6%増)	56,158 (39.7%減)	126,003 (19.3%減)
うち個人保険分野	(百万円)	139,525 (26.1%増)	49,793 (40.8%減)	112,423 (19.4%減)
うち団体保険分野	(百万円)	13,371 (9.3%減)	5,396 (23.0%減)	10,944 (18.2%減)
新契約年換算保険料	(百万円)	11,573 ()	3,858 (45.6%減)	8,306 (28.2%減)
うち第三分野	(百万円)	1,603 ()	932 (11.2%増)	1,697 (5.9%増)

(ご参考)

保有契約年換算保険料	(百万円)	63,902 ()	64,629 (2.1%増)	68,339 (6.9%増)
うち第三分野	(百万円)	8,775 ()	9,025 (3.3%増)	9,434 (7.5%増)

* 保険料等収入以外は個人保険 + 個人年金保険

* ()内は前年同期比増減率

* 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出

* 保険料等収入は損益計算書ベース

* 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険 + 個人年金保険、団体保険分野は団体保険 + 団体年金保険の合計保険料

* 年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

資産の状況等

		04年3月末	04年9月末	05年3月末
総資産額	(百万円)	682,282 (11.2%増)	700,247 (6.1%増)	727,258 (6.6%増)
実質純資産額	(百万円)	34,638 (2.9%増)	44,573 (42.6%増)	41,195 (18.9%増)
実質純資産額 / 一般勘定資産	(%)	6.9 (0.7ポイント増)	8.9 (2.9ポイント増)	8.5 (1.6ポイント増)
ソルベンシー・マージン比率	(%)	984.8 (47.1ポイント減)	1,451.3 (492.2ポイント増)	721.7 (263.1ポイント減)

* ()内は前年同期比増減率

基礎利益・逆ざや・利回り等

		04年3月期	05年3月期	06年3月期予想
基礎利益	(百万円)	3,153 ()	6,746 ()	120億円

* ()内は前年同期比増減率

		04年3月期	05年3月期	06年3月期予想
逆ざや額	(百万円)	3,993 (2,865減)	3,924 (69減)	40億円

* ()内は前年同期比増減実額

		04年3月期	05年3月期	06年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	%	1.34	1.31	1.2程度
運用利回り(一般勘定)	%	1.34	1.18	1.0程度
平均予定利率	%	2.21	2.22	2.2程度

(ご参考)

		04年3月期	05年3月期	06年3月期予想
時価利回り(一般勘定)	%	0.70	1.46	

準備金

		04年3月末	04年9月末	05年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	625,140 (74,987増)	633,357 (33,045増)	672,449 (47,309増)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	447,794 (30,205減)	434,685 (25,390減)	427,335 (20,459減)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	177,345 (105,192増)	198,672 (58,436増)	245,113 (67,768増)
価格変動準備金	(百万円)	194 (93増)	244 (85増)	284 (90増)
危険準備金	(百万円)	465 (291増)	690 (337増)	1,598 (1,132増)
うち危険準備金	(百万円)	465 (291増)	690 (337増)	1,598 (1,132増)
うち危険準備金	(百万円)	-	-	-
危険準備積立金(注)	(百万円)	-	-	-
価格変動積立金(注)	(百万円)	-	-	-
別途積立金	(百万円)	-	-	-

* 剰余金処分後の残高を記載

* ()内は前年同期比増減実額

含み損益

		04年3月末	04年9月末	05年3月末
有価証券	(百万円)	1,604 (3,293減)	1,395 (1,880増)	3,136 (1,532増)
うち国内株式	(百万円)	99 (102増)	44 (5増)	64 (34減)
うち国内債券	(百万円)	929 (4,039減)	1,737 (2,448増)	3,730 (2,801増)
うち外国証券	(百万円)	855 (205減)	1,282 (36減)	693 (161増)
不動産	(百万円)	- (11減)	- (-)	- (-)

* 有価証券の含み損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しています。

* ()内は前年同期比増減実額

* 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とする。

運用実績と計画

		04年度実績	05年度計画
国内株式	(百万円)	2,519減	横ばい
国内債券	(百万円)	15,515減	横ばい
外国株等	(百万円)	3,898減	増加
外国債券	(百万円)	1,147減	横ばい
その他の証券	(百万円)	1,394増	減少
不動産	(百万円)	1,959減	横ばい

* 2004年度実績は、帳簿価額ベースでの増減額を記載しています。

資産の含み損益がゼロになる株価水準(05年3月末時点)

日経平均株価	(円)	11,585円程度
TOPIX	(ポイント)	1,173程度
国内債券(パラレルシフトの場合)	(%)	1.6%程度
国内債券(スティーブ化の場合)	(%)	1.7%程度
外国証券	(円)	122.8円程度

* 国内債券は新発10年国債利回り換算し、小数第一位まで算出

* 上記数値は、当社のポートフォリオが日経平均株価やTOPIX、新発10年国債利回り、ドル円レートに連動すると仮定し、2005年3月末時点の保有状況により試算した結果です。ただし、当社のポートフォリオはこれらの指標に連動するとは限りませんので、試算時点によりこれらの数値は異なります。

* 国内債券は、“パラレルシフト”では3月末実績のイールドカーブが平行移動した場合の、“スティーブ化”では短期金利は現状のゼロ金利のみまで残存期間の長い金利ほど、より上昇すると仮定した場合の含み損益がゼロとなる新発10年国債利回りの試算値を記載しております。

* 外国証券はドル円換算にて算出いたしました。

06年3月期の業績見通し

		06年3月期予想
保険料等収入	(億円)	1,800
基礎利益	(億円)	120
保有契約高	(億円)	28,400

銀行との資本持ち合いについて 銀行からの抛出

		総額
基金(株式)に対する抛出	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

* 銀行からの抛出の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債

* 銀行からの抛出の株式は3月末の時価

銀行への抛出

		総額
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	4
優先株(海外SPCへの出資)	(百万円)	
優先出資証券(海外SPC等への出資)	(百万円)	
劣後ローン等	(百万円)	16,994

* 銀行への抛出の保有している株式には、優先株を含む。(各行・グループの海外現法への出資は除く)

* 銀行への抛出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

職員数

		04年3月末	04年9月末	05年3月末
営業職員	(人)	954 (1.5%増)	733 (22.7%減)	493 (48.3%減)
内勤職員	(人)	487 (2.6%減)	477 (3.2%減)	456 (6.4%減)

* ()内は前年同期比増減率

銀行窓販の状況

		(件)	04年3月期	04年9月期	05年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	12,538	2,740	6,359
	金額(収入保険料)	(百万円)	83,029	21,683	51,623
定額年金保険	新契約件数	(件)	-	-	-
	金額(収入保険料)	(百万円)	-	-	-

その他

)今後の自己資本強化策

・現在のところ、当社は十分な自己資本を有しており、具体的な資本増強計画はない。

)今後のリストラ計画

- ・平成16年8月1日付機構改革で営業総局を廃止。本社事務に集約し、事務の効率化を図った。
- ・T & D保険グループでは、グループ生保3社の本社間接部門の共通業務や組織・機能の集約を通じた機能強化及び業務合理化により、生産性向上を図っていく。

以上